

## オディシャ州

<b>州都:</b> ブバネーシュワル / <b>最大の都市:</b> ブバネーシュワル	
<b>面積:</b> 155,707 平方キロメートル(インドの総面積の約 5%)	
<b>人口:</b> 4,200万人(インドの総人口の約3.5%) (2011年国勢調査)	
<b>人口密度:</b> 269人/平方キロメートル	
<b>主要言語:</b> オリヤー語 / 識字率:74%(全国: 74.04%(2011年国勢調査))	
<b>州首相:</b> ナヴィーン・パトナヤク(ビジュ・ジャナタ・ダル)	
<b>知事:</b> ムルリダール・チャンドラカント・バンダーレ	
<b>地理/気候:</b> オディシャ州の東はベンガル湾に面し、州の海岸線は約450kmに及ぶ。また、西はチャッティースガル州、南はアーンドラ・プラデシュと接している。	
<b>歴史:</b> インドの独立後、オディシャに24の前藩王国が加わったことにより、人口は3倍、面積は2倍近くとなった。1950年にオディシャはインド連邦のもと憲法上の正式な州として成立した。	
<b>政治:</b> 州は複数政党制を取り、中心となる政党は、中道派で宗教分離主義をとるインド国民会議派(INC)と、地域社会主義の新人民党(ビジュ・ジャナタ・ダル)(BJD)である。ここ数年でインド人民党(BJP)も支持を伸ばしている。	
<b>進出済み日系企業数:</b> オディシャ州には13社(2011年10月時点) ブヴァネーシュヴァルに8社、ベルパハール、カタック、ガンジャム、ジョダ及びカルンガにそれぞれ1社 企業名: 黒崎播磨、三井住友海上、富士通ゼネラル、日立アプライアンス、本田技研工業、東京海上日動火災、海外新聞普及、NTT ドコモ、損害保険ジャパン、パナソニック、豊田通商、オリックス、双日	
<b>経済:</b> オディシャ州の2009年度総生産は1兆6,232億7,370万ルピーであり、インド全体 GDP の3%を占める。2004年度から2009年度までの GDP 年間成長率はインド全体の成長率9%よりも高い10%であった。同年度の一人当たりの年間所得は国内の平均が4万6,492ルピーのところ、3万121ルピーであった。	
<b>産業:</b> 州総生産の16%を製造業が占める。2004年度から2009年度までの間、製造業の年間成長率は25%であった。 主要産業: 林業、鉄合金業、アルミ産業、セメント産業、紙産業、砂糖、肥料、鉄及び鋼鉄、手織業、情報技術(IT)、電力及び観光業。	
<b>最近の話題:</b> オディシャ州政府は経済全般の成長を促進するため、物流に関する新しい政策を導入し、効率的で近代的な輸送管理システムを構築することとした。 以前の州名はオリッサ州であったが、2011年に現地語読みのおディシャ州に変更された。	